

令和6年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団事業報告

1 事業概要

令和6年度は、令和5年度決算において繰越額の増加が見込まれたことから、予算規模を拡大して事業を実施した。また、計画期間を令和6年度から令和15年度とする「事業団中長期計画（第2次）」を策定したほか、令和6年3月に設立50周年を迎えたことから、記念式典の開催や関連事業を実施するなど節目の1年となった。

4つの公益事業については、県や関係団体との連携を図りながら効率的な事業の実施に努め、令和6年度から「広報活動強化事業積立資産」活用による事業も実施した。資産運用に関しては、世界経済の先行きの不透明さなどを要因に、金融市場において株価や為替の変動が大きく不安定な年度となったが、予算額及び前年度実績額を上回る運用益を確保することが出来た。

健康づくり運動普及啓発事業（公益1）では、働き盛り世代における生活習慣病予防に関連した事業として、勤労者健康推進事業などを実施したほか、子どもや若年層を対象とした健康教育として体験型の講習会やイベントを開催した。また、健康情報誌と連動したWEBサイトやSNS等を活用し、幅広く情報発信を行ったほか、保険者や関連団体と連携した事業及び健康づくりに取り組む市町村や団体等への助成事業を継続して実施し、広く県民の健康づくりの普及に取り組んだ。

臓器移植普及推進事業（公益2）では、沖縄県と委託契約を締結し、臓器移植コーディネーター2名を配置した。あっせん業務に関しては、令和6年度のドナー情報数及び臓器提供数は、前年度より増加している。また、移植医療体制整備事業として、沖縄県移植情報担当者会議の開催や人材育成のための研修派遣事業を実施したほか、県民への普及啓発事業として、県と連携し臓器移植推進月間行事の開催や、SNS・ラジオ番組・路線バスの車内広告など各種メディア等を活用し、臓器提供意思表示促進及びグリーンリボン認知度向上に努めた。

ファミリーハウス事業（公益3）では、離島などから本島の医療機関で治療を受ける病児や付き添い家族のための宿泊施設「がじゅまるの家」を委託により運営し令和6年度の施設の稼働率及び利用人数については、ともに前年度を上回る実績となった。また、広報活動強化事業では、施設の認知度向上を図るため、ファミリーハウス施設紹介動画及びオリジナルソングを作成した。

勤労者福祉事業（公益4）では、公募により就労困難者の雇用に対する支援に取り組む団体に対し助成を行い、雇用に関する相談及び指導や資格取得などによる職業能力を高める事業とともに、雇用の機会の提供及び関係機関との連携など総合的な支援を通し労働者福祉の向上に努めた。

収益事業においては、所有する建物及び敷地内から湧出する温泉については、計画的に修繕や定期メンテナンスを行い、各契約に基づき引き続き安定した収益を得ている。

2 事業実績

(1) 健康づくり運動普及啓発事業

ア 健康づくりイベントの開催

(ア) 健康づくり講演会の開催

睡眠は、健康に不可欠な休養活動であり、睡眠不足による健康への影響は大きく、睡眠への関心度も高いことから、“睡眠の大切さ”や“質の良い睡眠”を得る方法など、健康的な生活習慣を獲得する事を目的に講演会を開催した。

- ・日時：令和7年1月26日（日）14：00～16：00
- ・場所：アイムユニバースてだこホール（大ホール）
- ・講師：堀江貴文（予防医療普及協会理事）
名嘉村博（名嘉村クリニック理事長）
- ・テーマ：睡眠不足、さよなら！眠りが変われば未来が変わる！！
- ・参加者数：706人

(イ) 県民健康フェア 2024 の開催

県民の健康づくりに関する意識の向上と取り組みを促すことを目的に、沖縄県医療保健介護連合（なごみ会 21 団体）と連携したイベントを開催した。

- ・日時：令和6年9月15日（日）台風により延期⇒11月17日（日）
- ・場所：沖縄コンベンションセンター（展示棟）
- ・参加者数：500人

(ウ) 調理実習の開催

地域に根差した健康づくりの視点から、減塩・郷土料理の伝承・生活習慣病予防メニュー等をテーマに体験型食育（調理実習）を沖縄県食生活改善推進員連絡協議会に委託し、名護市ほか10市町村で計17回実施した。

- ・期 間：令和6年7月～令和7年2月（参加者数：計280人）

(エ) 体験型栄養教育システム活用事業

県内各地における食育イベント及び講習会等において、実物大のフードモデルを用いた体験型栄養教育システムを活用し、県民の食習慣の見直しと望ましい食生活の実践を促すことを目的に、「食育 SAT システム（備品）」を（公社）沖縄県栄養士会に貸借し、効率的な運用を図った。

〔活用実績〕件数17件、講習会等参加者数909人

(オ) 若年層向け食育講習会

働き盛り世代の生活習慣病予防とヘルスリテラシーの向上を目的とし、今後就職や進学を迎える若年層（中高校生）を対象に、食育 SAT システムを利用して体験型食育講習会を開催した。

① 真和志高等学校

- ・令和6年10月8日（火）〔1年生1クラス、35人〕
- ・令和6年10月10日（木）〔1年生2クラス、30人〕
- ・令和6年10月11日（金）〔1年生1クラス、36人〕

② 宮古島市立鏡原中学校

- ・令和7年2月6日（木）〔1年生2クラス、38人〕
〔2年生2クラス、33人〕

③ 宮古総合実業高等学校

- ・令和7年2月7日（金）〔3年生1クラス、16人〕

(カ) 子供の体力低下対策イベントの開催

運動・スポーツに対する苦手意識の払拭と動くことの楽しさを実感してもら

い、将来の運動習慣の定着につなげていくことを目的に、県内の子供を対象としたスポーツ運動イベント『こどもスポーツフェスティバル 2024』を2日間にわたり開催した。

- ・日 時：令和6年12月14日（土）・15日（日）10：00～17：00
- ・場 所：A g r e ドーム北谷
- ・内 容：こども体力測定や運動教室体験、IT 技術を使った最新スポーツ、参加型ステージ等
- ・参加者：5,279 人

イ 健康づくり情報の提供

(ア) メディアミックス型情報発信事業

健康情報誌「kenko ISLAND」を年3回（8月、11月、1月）で各号23,000部発行し、県内公的機関、医療機関、金融関係、事業所へ配布した。また、県内コンビニ（セブンイレブン）、タウンプラザかねひで、モノレール各駅及び、イベント等での配布を行った。また、配布場所にマークをつけた地図をWEB上に掲載し、より多くの人に届けることで幅広い世代の読者層の獲得を図った。各号でプレゼント応募の際に、アンケートを実施しているが、その結果（1月号/総数553件）は以下のとおりである。

・本誌を手にとった場所はどこか？	1位 セブンイレブン 34.7% 2位 職場 12.5% 3位 役所 9.9%
・男女別	男性 23.3% 女性 76.3%
・年代別	1位 40代 (31.28%) 2位 30代 (27.67%) 3位 50代 (19.53%) 4位 20代 (12.12%)

情報誌の発行に加え、専用ウェブサイト (www.islandweb.okinawa) 及び各種 SNS (Instagram、X)、動画配信サイト (YouTube) 等の複数メディアを組み合わせることで、若年層を中心とする働き盛り世代に向けた効率的な健康づくり情報の発信に努めた。SNS においては、キャンペーンの他、琉球ゴールデンキングス試合での ISLAND 配布およびこどもスポーツフェスティバルにおけるブース出展によりフォロワー数を増やし、より多くの方に情報発信することができた。

令和7年3月末時点の SNS フォロワー数は以下のとおりとなった。

X (旧 Twitter) 2,357 (対前年度比 91%)
Instagram 4,511 (対前年度比 130%)
YouTube 181 (対前年度比 121%)

令和6年度の「kenko ISLAND」各号の特集テーマは以下のとおりである。

Vol. 68 (8月号) THE・健康診断
Vol. 69 (11月号) 疲れ知らずのカラダになる
Vol. 70 (1月号) 肌にいいこと悪いこと

(イ) 健康情報発信 (ホームページ)

事業団ホームページにおいて、イベント案内や企画コンペ、助成金の公募情報掲載等、県民の健康づくりを支援するための情報を発信した。

ウ 保険者との連携事業（全国健康保険協会沖縄支部）

（ア）事業所で取り組む禁煙サポート事業

事業所や薬剤師のサポートを受けながら最大 8 週間の計画に沿って、禁煙に取り組むことで、卒煙率を高めるとともに、参加事業者の作業環境の変化による受動喫煙防止の促進を図る。

- ・参加事業所数：72 社
- ・参加者：181 人
- ・卒煙率：48.0%（令和 7 年 3 月時点）

エ 勤労者健康推進事業

（ア）職場の健康力アップ推進事業（沖縄県との共同事業）

県内企業に対し健康経営の普及推進を目的に、企業の健康づくりを企画、立案から実施までワンストップで支援していく事業を実施するため、企画提案コンペによって選定された（一社）トータルウェルネスプロジェクトオキナワに運営を委託した。当事業では、各企業が抱える職場の健康問題を改善するための取り組みを支援し、要望により多く実施された支援メニューとしては、①フィットネスセミナー ②健康機器測定会 ③高血圧対策セミナーとなっている。その他には、経済団体・関係団体への情報伝達、各種メディアからの情報発信、健康づくりに関する各種制度の周知や利用促進等の普及啓発を行った。

- ・実施期間：令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
- ・委託額：14,780,000 円（うち当事業団負担額 4,000,000 円）
- ・実施企業：45 社（従業員 3,984 人）
- ・参加延べ人数：980 人

（イ）ラジオ体操の普及啓発事業

沖縄県民の運動不足解消を目的に、県内企業の働き盛り世代を対象とした「本気のラジオ体操」の普及啓発並びに定着化支援を図った。

[普及啓発]

- ・テレビ CM の放映（出演：パッション屋良）
放映期間：令和 6 年 10 月 4 日～令和 6 年 10 月 31 日、放映本数 60 本
- ・テレビ番組内でラジオ体操実践企業の紹介：令和 6 年 1 月 11 日放送
- ・LP サイト及びチラシ、リーフレットを活用した情報発信
- ・企業向けラジオ体操指導員資格取得講習会の開催：令和 6 年 10 月 11 日（参加者 76 名、うち 69 名が新規指導員登録を行った）

[定着化支援]

県内企業 8 社を対象に、正しい動作で行うラジオ体操の定着化を支援した。

- ・定着率 87%：参加者 546 人のうち 474 人が継続（令和 7 年 3 月時点）

（ウ）高血圧症対策啓発事業

沖縄県医師会の監修のもと、血圧測定を習慣化させるため、血圧手帳を 10,000 部、啓発ポスター 2,000 部作成し、県内医療機関及び郵便局等へ配布、掲出を行った。なお、事業団ホームページにおいても血圧手帳をダウンロードできるように設定した。また、健康づくり講演会にて、沖縄県医師会の協力として血圧測定ブースを設置し、参加者の血圧測定も行った。

オ 助成事業

（ア）市町村健康づくり運動実践活動助成

市町村が実施している健康づくり事業を支援するため、市町村を対象に助成応募者を募り、事業費の 10 分の 7（限度額 40 万円）の助成を行った。

令和6年度は、13市町村への助成を行った。助成総額：3,520,000円

	市町村名	事業名	実施期間	事業内容
1	浦添市	浦添市健康づくり 協力店認証制度事業	R6年4月～ R7年2月	糖尿病や高血圧などの生活習慣病予防のため、市内の弁当販売店などに協力を依頼し食環境の整備を行い市民の健康意識の向上につなげる。協力店には、健康づくり協力店として認証する。 R7.2月現在 53 店舗（R6 年度事業＝22 店舗承認）
2	沖縄市	食育推進事業	R6年5月～ R7年2月	第3次沖縄市食育推進計画に基づき、ライフステージに応じた食育を推進することで、町民の豊かな生活の実現を目指し実施した。参加者：延べ 706 人（キッズクッキング教室 146 人、親子料理教室 113 人、郷土料理教室 56 人、減塩料理教室 20 人、ヘルスサポーター教室 371 人）
3	宜野湾市	アプリで歩こう！ はごろもウォーク 2024	R6年 11月1日～ 12月12日	運動習慣を行動に移せない方や無関心層を含めた市民を対象に、アプリを使ったイベント参加型事業を実施。参加者は 683 人。参加者（登録者）へは、全員に記念グッズを郵送配布。
4	与那国町	令和6年度福祉と健康 づくりの集い	R6年 11月23日	町民の健康づくりの意識高揚と福祉への理解を深めるなど、運動実践や食育などを通して町民の生活習慣病予防につながる様、与那国町社会福祉協議会との共催で本事業を行った。参加者：269 人。
5	久米島町	Alohasai 久米島♪ フラ活でウェルネス ライフ！	R6年 9月～12月 (全4回)	運動習慣のきっかけ、ストレス解消等、年齢を問わず誰でも参加できるハワイアンフラを通して、町民全世代の健康づくりに繋げるため、ワークショップを4回開催した。参加者：延べ 81 人
6	西原町	西原町健康づくり ボランティア養成事業	R6年 7月～10月	地域住民の健康づくりを積極的に推進するボランティアの養成を行った。 ・食生活改善推進員養成講座 8 回（修了者6人） ・健康づくり推進員養成講座 3 回（修了者3人）
7	嘉手納町	嘉手納町食育推進 事業	R6年8月～ R7年2月	健康的な郷土料理を普及啓発する動画及びチラシを作成し、町 YouTube チャンネルにて配信した。ポスター・チラシは、イベントなどで掲示、配付を行った。 動画視聴回数（11/17～1/29 現在） 1話：13,451回 2 話：14,256 回
8	北中城村	沖縄生まれのスポーツ メンコデングリーを 活用した健康づくり・ 地域づくり・まち（交 流）づくり	R6年7月～ R7年2月	遊びの「メンコ」を進化させたスポーツデングリーを通して、体力向上、ストレス解消、世代間交流などから地域住民の健康増進を図るため本事業を行った。 実施内容：参加者：延べ 156 人 ①【スポーツメンコデングリーキャラバン】3回 ②【スポーツメンコデングリー大会】1回
9	那覇市	食生活改善推進員 養成・育成事業	R6年 7月～12月	市民の食生活の改善を図るため、食生活推進員の養成及び育成を行った。 実施内容：講座7回（養成者 11 人：修了者3人、育成者 39人）
10	宜野座村	宜野座村いきいき健 康事業	R6年 10月27日	村民の健康意識の高揚を図るため、宜野座村まつりと「いきいき健康フェスティバル」を同時開催した。 参加者：211 人（アンケート回収数） 実施内容：食育（食育 SAT システム体験他）、健康チ

				エック測定会(4種)、健康相談、運動コーナー(ヨガ他)、足つぼ・整体コーナー等
11	伊是名村	伊是名村健康づくり事業	R6年 9月28日	第2次いぜながんじゅう88プランに沿って、村民の健康意識の向上を図るため本事業を開催した。 実施内容＝運動(講話、全身ストレッチ、100歳体操の実践)、食育(塩分濃度チェック・体験、ヘルシーもずく丼のレシピ配布と試食)、パネル展等
12	竹富町	令和6年度竹富町食生活改善推進員養成講座	R6年 8月6日～ 9月25日	村民の食生活を中心とした、健康づくりに対応できる人材養成・育成を行った。 実施内容:食生活改善推進員養成講座 10単位・20時間(講義・調理実習・運動実践等) 養成者6人
13	うるま市	健康フェスタ(健康づくりイベント)	R6年 11月2日	うるま市の健康課題解決のために、市民の健康意識向上、行動変容につながるイベントを開催した。 実施内容＝ステージ(地域団体によるダンス披露と参加者の運動実践等)、運動エリア(体験測定会)、その他妊娠体験、パネル展示、講演会、塩分・ベジチェックなど。参加者:延べ2,658人(アンケート回答242人)

(イ) 健康づくり運動実践活動団体助成

広く県民の健康づくりに寄与するため、地域で健康づくり実践活動を継続している団体に対し、事業経費の10分の9(限度額30万円)の助成を行った。

令和6年度は、6団体への助成を決定した。助成総額:1,366,113円

	団体名	助成対象事業名	開催日	事業内容
1	沖縄県医科学研究財団	令和6年度市民公開講座	R6年 8月3日	県民の健康増進の普及及び啓発のための市民公開講座を開催し、沖縄の実態と未来についての正しい知識の普及を図り、病気の早期発見と早期治療を進めることにより広く県民に健康増進への啓発を行った。参加者/45人 会場/オリオンホテル那覇
2	沖縄県女性連合会	健康づくりフェスティバル	R6年 11月17日	健康志向意識の高さや平均寿命の伸長を踏まえ、スポーツや沖縄伝統空手(健康技)、ダンス、ラジオ体操等、踊りを通して健康づくりを推進し、安心安全な健康スポーツを行った。来場者/約700人 会場/沖縄空手会館
3	沖縄県栄養士会	県民への健康増進のための食生活充実に向けた啓発	R6年8月～ R7年2月	「もしものための食の防災備蓄」として、県民向けのパンフレットを作成した。配慮が必要な方(乳幼児、高齢者、食物アレルギー、慢性疾患等)に向けた情報も掲載して、家庭備蓄の例を提示している。
4	沖縄県看護協会	禁煙支援者研修会	R6年 12月6日	喫煙対策に関する国の動向や最新の知見等を学ぶことで支援者のスキルアップを図り、県民の健康課題である喫煙者に対して禁煙を支援する研修を行った。参加者/85人 会場/沖縄県看護研修センター
5	沖縄がん教育サポートセンター	がん教育外部講師の育成と派遣事業	R6年6月～ R7年2月	共生社会を目指す態度を育成することを目的に、県内学校や自治体へ講師を派遣し、正しいがんの知識と健康や命の大切さを伝えるためのがん教育授業を行った。会場/16カ所

6	沖縄県医師会	65歳未満健康・死亡率改善プロジェクト	R7年2月	県医師会と沖縄県保健医療福祉事業団の共同で作成し、配布した血圧手帳が大好評だったため、10,500部を増刷した。増刷した血圧手帳は、今後県医師会会員施設へ発送予定。
---	--------	---------------------	-------	--

(ウ) 健康課題解決型支援事業助成 図

行政及び民間企業等が連携して県民の健康課題の解決を図る事業に対し、将来的な自走化を見据えた助成の応募を募り、事業費（限度額 500 万円）の助成を行った。令和 6 年度は、「生活習慣病を予防するための運動習慣の定着化」の課題に関する 2 件の助成を決定した。助成総額：9,035,901 円

	連携者	事業名	実施期間	事業内容
1	読谷村、ISSIN	健康アプリ「Smart 5min」を活用した生活習慣病を予防するための運動習慣の定着化推進事業	R6年 9月1日～ 11月30日	村民 177 名を対象に 3 カ月間、運動不足解消のため歩くことや体調に合わせた 1 日 8,000 歩相当の運動を提案、ランキング形式で表示するなど、運動習慣の定着を図った。3 か月後の同アプリの継続率は 56%、1 日の歩数も平均 5,000 歩から 9,000 歩相当となった。プログラム終了時のアンケートによると肩こりの軽減、疲れにくくなったという回答が多かった。
2	久米島町、アロハイサイオキナワ	沖縄とハワイの文化芸能を活かしたフレイル予防の推進と町民の運動習慣化へのアプローチ『TSUMUGU 久米島プロジェクト』	R6年 7月21日～ R7年 1月19日	オキナワンフラの創作業務、普及啓発を図るためのフライヤー及びポスター作成、地域新聞での PR、各字公民館での出前講座、体験交流イベントの開催、映像コンテンツ作成と指導者養成を行い、アンケートやヒアリングで効果検証を行った。延べ 167 名の町民が参加したが、運動へのハードルも低く楽しみながら出来たという声は多かったが、運動習慣の定着までは不十分となった。

(2) 臓器移植普及推進事業

臓器の移植に関する法律（平成 9 年法律第 104 号）の施行後、四半世紀が経過し、脳死下での臓器提供者（ドナー）数が徐々に増加し、全国における令和 6 年度の脳死下臓器提供数は 139 件で過去最高となる一方、諸外国と比べると、人口 100 万人当たりの脳死・心停止ドナー数はいまだ低い水準となっている。このような状況を踏まえて、厚生科学審議会疾病対策部会臓器移植委員会では、臓器提供者数の増加に対応していくために、今後の臓器移植医療のあり方として、臓器提供施設、臓器あっせん機関、移植実施施設のそれぞれについて、課題の整理と今後の対応策について検討を進めている。

本県における臓器移植の現状としては、腎臓及び膵臓（肝臓は生体移植のみ）の移植が可能であるが、透析患者数が人口 100 万人あたりの患者数で全国上位に位置するなど、令和 6 年 12 月末で 238 名の方が腎臓移植希望の登録を行い移植が受けられる日を心待ちにしている。一方、腎臓移植等に必要な組織適合性（HLA）検査施設が不在となっている課題に関しては、引き続き県及び関係機関との調整状況を把握しながら対応を検討していく。

ア 臓器移植連絡調整者設置事業（県からの受託事業）

臓器移植連絡調整者（臓器移植コーディネーター）を 2 名配置し、日本臓器移植ネットワークと協働しながら、関係医療機関との連携に努めた。

(ア) 臓器提供者（ドナー）発生時の対応（あっせん業務）

- ・ドナー情報数：25 件（前年度 19 件）
- ・脳死下臓器提供数：2 件（前年度 0 件）
- ・心停止下臓器提供数：1 件（前年度 1 件）
- ・腎臓移植：4 件（前年度 3 件）

令和 6 年度県内実績件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
情報数	1	3	2	2	3	2	3	1	3	2	0	3	25
提供数	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3
腎移植数	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
臍移植数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(イ) 臓器移植推進委員会の開催

臓器移植の専門的立場からの指導助言を受け、正しく臓器移植医療の普及啓発を図るため、専門医による推進委員会を開催した。

＜第 1 回＞令和 6 年 7 月 24 日（水）18:30～20:00

＜第 2 回＞令和 6 年 12 月 4 日（水）※あっせん事例対応により急遽中止

＜第 3 回＞令和 7 年 3 月 10 日（月）18:30～20:00

(ウ) 臓器移植コーディネーターの教育並びに適切かつ円滑に業務が遂行できるよう日本臓器移植ネットワークが開催する研修会及び日本移植学会等の関連学会への参加を行った。

イ 医療機関の移植医療体制整備事業

(ア) 病院啓発

臓器提供施設連携体制構築事業（日本臓器移植ネットワーク事業）と協働しながら関係医療機関への巡回訪問及び勉強会の開催に努めた。また、移植情報担当者が立場を明確にしながら院内で活動しやすいように名札を作成した。

(イ) 沖縄県移植情報担当者会議の開催

＜第 1 回＞令和 6 年 7 月 12 日（金）14:00～16:00

会 場：沖縄県三重城合同庁舎 8 階特別研修室

参加者：43 人（16 施設）

内 容：報告 アイバンク活動報告

井上えりか（沖縄県アイバンク協会）

報告 臓器提供の現状と普及啓発活動について

勝連知治（沖縄県臓器移植コーディネーター）

講演 院内 Co と都道府県 Co の連携について

稲葉伸之（元群馬県臓器移植コーディネーター）

＜第 2 回＞令和 6 年 11 月 8 日（金）14:00～16:00

会 場：沖縄県医師会館 3 階ホール

参加者：37 人（14 施設）

内 容：報告 沖縄県内の臓器提供の現状と普及啓発活動について

勝連知治（沖縄県臓器移植コーディネーター）

グループワーク 脳死下臓器提供のプロセス

講師：那須道高（浦添総合病院）

講演 小児からの脳死下臓器提供

小原隆史（岡山大学病院）

＜第3回＞令和7年3月7日（金）14:00～16:00

会 場：沖縄県医師会館3階ホール

参加者：35人（14施設）

内 容：報告 臓器提供の現状について

勝連知治（沖縄県臓器移植コーディネーター）

グループワーク ポテンシャルドナーについて

講師：豊見山直樹（那覇市立病院）

講演 スペイン TPM2024 研修参加報告及び症例報告

酒井亮裕（県立中部病院）

（ウ）研修会・学会等への派遣

関係医療機関に配置されている移植情報担当者等を対象に募集を行い、下記の派遣を行った。

① 日本脳死・脳蘇生学会臓器提供ハンズオンセミナー（令和6年11月17日）

派遣者数：6名

② 第58回日本臨床腎移植学会（令和7年2月6日～8日）

派遣者数：2名

（エ）移植医療セミナー（TPM）への派遣

関係医療機関で急性期医療に関わる医師等を対象に募集を行い、下記の派遣を行った。

派遣先：スペイン（バルセロナ）

派遣期間：令和6年11月4日～8日

派遣者：間山泰晃（中頭病院）、酒井亮裕（県立中部病院）

※上記（ア）、（イ）の事業については、日本臓器移植ネットワークの2024年度都道府県支援事業費助成金を活用した。

※予定していた事業団と関係機関を円滑に繋ぐ医療機関電子ネットワークシステム構築事業については、仕様等について調整が整わず未実施となった。

ウ 県民への普及啓発事業

（ア）臓器提供意思表示カードの配布及び所持・意思表示欄への記載を推進するため、県、市町村及び関係機関の協力を得てカードの設置や健康保険証・自動車免許証等への記載推進について普及啓発を行った。

・市町村、関係機関等へ意思表示カードの補充を行った。

・普及促進グッズとしてオリジナルレポート用紙を作成し配布した

（イ）臓器移植普及推進月間（10月）行事の開催

① 街頭キャンペーン

開催日時：令和6年10月5日（土）16:00～17:00

開催場所：パレット久茂地前広場

② 臓器移植を知るシンポジウム2024

キャッチフレーズ：「伝えよう あなたの思い 家族のために」

開催日時：令和6年10月26日（土）14:00～16:00

開催場所：沖縄県立図書館3階ホール

参加者：87人

内 容：Instagram キャンペーン受賞式

基調講演

I 「臓器移植ってなあに？」

琉球大学病院 第一外科教授 高槻光寿

II 「伝えておきたい私の意思 ― 臓器提供について」

那覇市立病院 副院長 豊見山直樹

質疑応答

(ウ) 移植医療推進に向けた作品展等の開催

グリーンリボン沖縄 Instagram オフィシャルアカウントにて、南城市公式キャラクター「なんじい」と連携し、ぬりえコンテスト及びキャッチフレーズ募集を行い応募頂いた作品等を活用し下記でパネル展を開催した。

県立図書館：令和6年10月2日～10月28日

県立中部病院：令和6年11月18日～12月20日

(エ) 出張講座の開催

沖縄県立看護大学：令和6年5月30日(木)、6月20日(木)、7月11日(木)
10月3日(木)、10月24日(木)

沖縄大学：令和6年12月19日(木)

沖縄大学市民公開講座（オンライン）：令和7年1月22日(水)

(オ) メディア等を活用した広報事業

各種メディアを活用して、臓器提供意思表示の促進及びグリーンリボン認知度向上に資する以下の活動を行った。

① SNS(Instagram オフィシャルアカウント)を活用した広告

② ラジオ放送番組の活用

ハッピーアイランド（エフエム沖縄）：令和6年10月23日（水）

ティーサージ PARADISE（ラジオ沖縄）：令和6年10月16日（水）

RBCi ラジオ特別番組：令和6年10月19日（土）

③ 新聞を活用した情報発信（臓器移植を知るシンポジウム記事掲載）

琉球新報：令和6年11月10日（日）

沖縄タイムス：令和6年11月10日（日）

④ オリジナルドラマ「あなたのこと」（令和5年度制作）の再放送

QAB 琉球朝日放送：令和6年8月18日(日)13時55分～14時50分

⑤ 路線バス車内広告及び車内放送

※制作したバス車内広告が、第43回沖縄広告協会「広告賞」セールスプロモーション第二部門で金賞を受賞した。

(カ) イベントの活用

（一社）沖縄県ハイヤー・タクシー協会の協力を得て臓器提供の意思表示促進を図った。

・タクシーの日ラジオ番組出演（令和6年8月5日）

・グリーンリボンドライバーステッカー贈呈式（令和6年9月26日）

(キ) グリーンライトアップ事業

街頭キャンペーンに合わせて、点灯式及びグリーンライトアップを行った。

・沖縄県庁：令和6年10月5日（土）

・パレットくもじ UFURUFU：令和6年10月5日（土）～11日（金）

・琉球新報本社ビル：令和6年10月5日（土）～11日（金）

・国際通りストリートビジョン：令和6年10月5日（土）～11日（金）

(ク) 人気コンテンツとの連携事業【広報活動強化事業】

沖縄アリーナを本拠地とする琉球ゴールデンキングスとオフィシャルパートナー契約を結び、アリーナ内ビジョンにグリーンリボンロゴを掲出するなど認知度向上と意思表示促進を図った。

エ 助成事業

(ア) 組織適合性検査助成

県内在住の臓器移植希望者であって日本臓器移植ネットワークに登録する際に必要な組織適合性検査を受けた人に対して1人につき38,450円を限度として助成を行った。(令和6年度より県外機関での検査実施となったが、それに伴い本人負担額が増額とならないよう特例措置として助成金の限度額を改定した。)

支給件数：26件

(イ) 臓器移植関係団体への助成

広く県民に臓器移植が正しく理解されることを目的に、県内において臓器移植の普及啓発活動を実施している下記の2団体に対し10万円を上限に助成を行った。

(一社) 沖縄県腎臓病協議会、(公財) 沖縄県アイバンク協会

(ウ) 香料支給

臓器提供者及びそのご家族への感謝の意を表し、臓器摘出手術が県内で行われた場合に、1件に対し3万円を支給した。

支給件数：3件

オ 賛助会員募集事業（1口：3万円）

賛助会員加入の協力を、県内の医療機関及び企業団体等に呼びかけたところ、29団体から29口、87万円の会費収入があった。

カ 献眼業務支援

(公財) 沖縄県アイバンク協会より要望のあった献眼業務支援について、8件のサポートを行った。

(3) ファミリーハウス事業

離島など遠隔地から「南部医療センター・こども医療センター」等に、入院または通院する子どもや付き添い家族のための滞在施設として、ファミリーハウス「がじゅまるの家」の運営を認定NPO法人「こども医療支援わらびの会」に委託して行い、病児及び家族の経済的負担や精神的不安の解消に努めた。また、施設においては、利用者が快適に過ごせるよう環境整備に努めた。ファミリーハウス事業について広く県民に周知するため、当事業団発行の健康情報誌「kenko ISLAND」誌面にて紹介記事(GAJUMARU PRESS)を掲載した。

利用者の滞在期間中の利便性向上を図るため、こども医療支援わらびの会が所有する電気自動車の貸出しを行うことについて調整を行い、協議書を作成した。

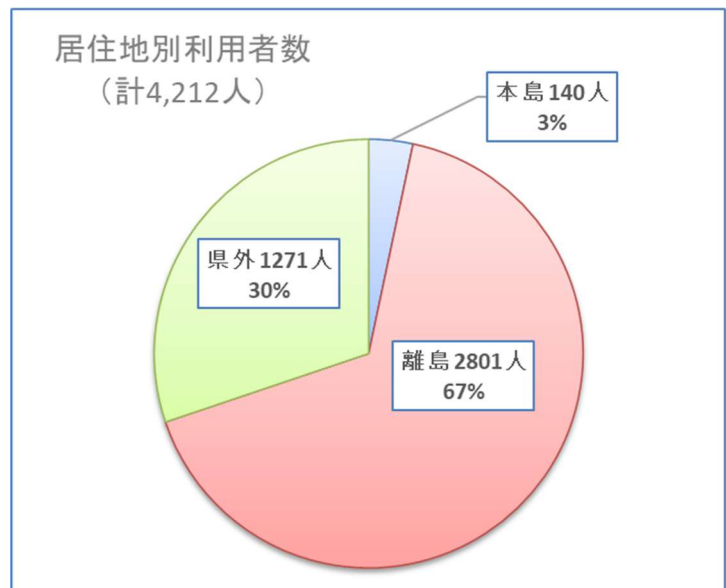
ア 令和6年度の施設稼働率及び利用者数等の実績

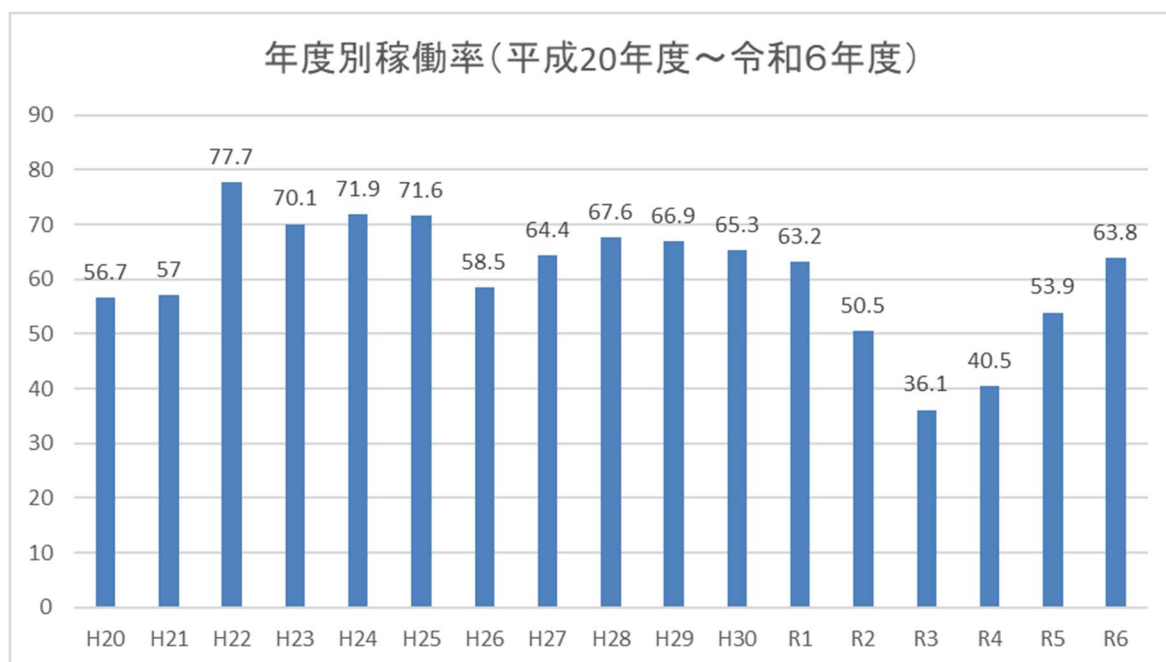
ファミリーハウス「がじゅまるの家」利用状況（令和6年4月～令和7年3月）

月	営業 日数	利用室数	稼働率	延べ利用者数(人)				
				沖縄県内			県外	合計
				本島	離島	計		
4	30	185	61.67%	0	233	233	124	357
5	31	192	61.94%	6	286	292	33	325
6	30	165	55.00%	6	224	230	33	263
7	31	226	72.90%	9	238	247	140	387
8	31	278	89.35%	42	271	313	287	600
9	30	191	63.67%	45	178	223	126	349
10	31	171	55.16%	16	180	196	46	242
11	30	257	85.67%	2	305	307	104	411
12	31	217	70.00%	0	346	346	29	375
1	31	153	49.35%	7	217	224	69	293
2	28	148	52.86%	5	161	166	150	316
3	31	149	48.06%	2	162	164	130	294
計	365	2,332	63.80%	140	2,801	2,941	1,271	4,212

都道府県別延べ利用者数及び割合

都道府県	人数	割合
沖縄県	2,941	69.8%
鹿児島県	522	12.4%
東京都	229	5.4%
広島県	81	1.9%
青森県	75	1.8%
大阪府	67	1.6%
兵庫県	48	1.1%
栃木県	44	1.0%
福岡県	42	1.0%
京都府	41	1.0%
千葉県	27	0.6%
三重県	16	0.4%
宮城県	14	0.3%
大分県	12	0.3%
北海道	11	0.3%
新潟県	8	0.2%
愛知県	6	0.1%
神奈川県	4	0.1%
宮崎県	3	0.1%
奈良県	1	0.0%
国外	20	0.5%
合計	4,212	100.0%





沖縄県内居住地別延べ利用者数

(単位:人)

R6年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
沖縄本島	名護					39	25							64
	うるま市			6										6
	北谷					2								2
	大宜味						20	16					2	38
	宜野湾				9									9
	今帰仁											5		5
	沖縄市										7			7
	那覇					1			2					3
	与那原		6											6
沖縄県離島	伊是名							2						2
	伊平屋							8	5					13
	久高													0
	座間味					5					2	12	43	62
	久米島	39	9	13		3	4	20	19	36	16	11		170
	宮古	64	94	83	125	65	50	31	73	91	70	43	26	815
	石垣	90	183	107	93	186	109	114	199	169	111	72	80	1,513
	粟国	14		10	14	12	7	5		11				73
	南北大東											14	13	27
	伊江	26		5	6		8		9	39	18	9		120
	勝連			6										6
合計		233	292	230	247	313	223	196	307	346	224	166	164	2,941

イ ファミリーハウス運営協議会の開催

ファミリーハウス「がじゅまるの家」に関する利用状況報告及び関係団体との連携体制構築のため、ファミリーハウス運営協議会を開催した。

日時：令和6年12月19日(木)10:00-11:30

場所：がじゅまるの家 多目的室「マンタ」

議題：①県立南部医療センター・こども医療センターとの連携について

②施設利用申込者の満室時の対応及び支援について

③わらびの会公用車（電気自動車）の導入について

出席：①特定 NPO 法人こども医療支援わらびの会

②沖縄県保健医療介護部地域保健課及び健康長寿課

③県立南部医療センター・こども医療センター地域連携室及び総務課

④がじゅまるの家 ハウスマネージャー 統括主任

⑤事業団

ウ ファミリーハウス広報事業【広報活動強化事業】 図

ファミリーハウス「がじゅまるの家」の認知度向上を目的に施設紹介動画及びリーフレット等の制作を行った。

（ア）施設紹介動画の制作

ファミリーハウス「がじゅまるの家」の施設及び取り組みを紹介する動画を制作した。令和7年3月25日に同施設において、当該動画及び kiroro の金城綾乃氏より楽曲提供を受けたファミリーハウスオリジナルソング『この場所で』の制作発表会を行った。

（イ）地図アプリへの施設内部画像の掲載

グーグルマップ上に施設内部の 360° パノラマ画像を掲載し、PC やスマホなどから施設の雰囲気や広さなどを容易に実感してもらえるようにした。

（ウ）リーフレットのリニューアル、ポスターの制作

- ・発行部数：（リーフレット）日本語 5,000 部、英語 100 部、韓国語 50 部、中国語（簡体字・繁体字）各 50 部、（ポスター）300 部

（４）勤労者福祉事業（就労支援事業）

県内において就労困難者に対する就労支援事業を行う団体に対し、その事業費を公募により募集し、助成を行った。就労支援においては、長期離職者など現在の状況から就労に時間を要する方、生活や心の問題を抱えている方など多いことから、効果的な支援に繋げるため、就労の継続及び生活自立に向けた支援機関との連携など総合的支援が求められている。助成額 2,000 万円。

- 1 助成団体：（公財）沖縄県労働者福祉基金協会
- 2 助成対象事業：沖縄県労福協 就労サポートセンター事業
- 3 実施期間：令和6年4月～令和7年3月
- 4 事業内容：

（ア）就労困難者に対する雇用に関する相談及び指導

a セミナー及び訓練

- ライフリテラシーセミナー＜計 11 回、参加者 124 名＞
- ライフリテラシーセミナー（名護市）＜計 1 回、参加者 15 名＞
- ライフリテラシーセミナー（若年妊産婦）＜計 1 回、11 名＞

b 中間的就労の場の提供

- フードバンク活動への参加＜計 18 回、参加者 27 名＞

- 就労体験（Gfactory 受注作業）＜計 12 回、参加者 39 名＞
- (イ) 就労困難者に対する雇用に関する情報収集及び提供
 - a 無料職業紹介事業
 - 「就労困難者」にマッチングした求人開拓（新規登録企業数 36 社）
＜新規求職申込者 23 人、採用決定者 21 人＞
 - b 働く人のためのガイドブックの配布・キャリア教育等への活用
- (ウ) 資格取得、技術または技能の習得等職業能力を高める事業
 - リスキリングセミナー＜計 8 回、参加者 117 人＞
 - 訓練センターを活用したパソコンセミナー＜計 27 回、計 123 名＞
 - 浦添市母子生活支援施設浦和寮出張型パソコン講習（Word・Excel）
＜計 5 回、9 名＞
- (エ) その他就労支援のために必要な事業
 - a キャリア教育
 - ライフリテラシーセミナー：首里高校）＜計 10 回、参加者 390 人＞
 - 「わった～社会人」知って活かせるワークルール（沖縄大学経法商学部）
＜計 1 回、参加者 88 名＞
 - b 働く仲間のゆめ・みらい基金（「働く」につなげる支援）に係る連携支援
連携機関：市町村、県内社会福祉協議会、県内就労支援関係団体等

沖縄県労福協 就労サポートセンター実績(令和 6 年度)

令和 6 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
新規人数	2	6	11	20	21	27	19	21	8	19	31	10	195
延べ利用回数	2	6	101	22	27	41	34	75	178	335	96	26	943
就職者数	2	0	1	5	5	4	4	9	7	4	5	8	54

※グッジョブセンターおきなわ内実施支援・セミナーで対応した数値（出張セミナー及び共催セミナー含む）

(5) 現有資産の活用

事業団が所有する施設を民間フィットネス事業者の（株）フィットネスプロモーション及び（公財）沖縄県アイバンク協会へ定期賃貸借契約により貸し付けた。（株）フィットネスプロモーションが運営する「ジスタス浦添」の令和 6 年度施設利用者の延べ人数は、約 546,000 人となっており、県民の健康増進に活用された。土地については、発電設備設置の土地(152.08 m²)を（株）シントーへ貸し付けた。敷地内から湧出する温泉は、動力装置により汲み上げ、温泉施設（ジスタス浦添及び浦添の湯）へ供給を行った。

(6) 特定資産活用による広報活動強化事業計画

広報活動強化事業（令和 5 年度～令和 9 年度）は、令和 6 年度で事業実施 2 年目となるが、予算額 11,000,000 円に対し、決算額は 6,866,200 円となり、執行率は 62.42%となった。

ファミリーハウス広報事業は概ね計画どおりの実施となったが、高血圧症対策啓発事業では連携先との制作内容の見直しによる不用額（781,200 円）が発生したほか、臓器移植プロモーション事業では連携先となる人気コンテンツの選定調整ができず不用額（3,350,000 円）が発生したことから、次年度以降へ繰り越した。った。

事業名		実施内容
健康づくり	働き盛り世代に向けた健康づくり広報事業	・高血圧症対策啓発事業として、沖縄県医師会との連携事業を行った。※P4 エ(ウ) 参照
臓器移植	臓器移植プロモーション事業	・人気プロスポーツチームの琉球ゴールデンキングスと連携したグリーンリボンの認知度向上及び臓器提供の意思表示促進を図った。※P10 ウ(ク) 参照
ファミリーハウス	ファミリーハウス広報事業	・施設紹介動画の制作及びリーフレットのリニューアル等を行い、がじゅまるの家の認知度向上を図った。※P14 イ 参照

広報活動強化事業積立資産（特定資産）の活用による事業実施計画表

【令和5年度から令和9年度まで】 予算総額 2,300 万円

事業名	事業内容	事業予算(円)					
		令和5年度 (実績額)	令和6年度 (決算額)	令和7年度 (予算額)	令和8年度	令和9年度	事業別 合計
働き盛り世代に向けた健康づくり広報事業	・新聞、ラジオ、SNS、公共交通機関広告等を活用した広告 ・食生活改善等に関する情報発信等 ・ノベルティ制作、その他	0	1,218,800	2,000,000	2,781,200	0	6,000,000
臓器移植プロモーション事業	・テレビ、SNS等を活用した広告 ・動画コンテンツの制作、放送 ・ノベルティ制作 ・その他	0	1,650,000	3,630,000	2,720,000	3,000,000	11,000,000
ファミリーハウス広報事業	・施設紹介の動画制作 ・SNS、新聞等を活用した広告 ・パンフレット及びノベルティ制作 ・県内離島を中心に、行政や関係機関に向けた広報	0	3,997,400	2,002,600	0	0	6,000,000
合計額		0	6,866,200	7,632,600	5,501,200	3,000,000	23,000,000

(7) 特定資産活用による周年事業計画

周年事業計画（平成30年度～令和6年度）は、計画の最終年度となり予算額 6,581,430 円に対し、決算額は 6,571,338 円（執行率 99.85%）となり周年事業積立資産として積み立てた 3,000 万円を計画年度内に満額執行することができた。

令和6年度の事業内容は、事業団の設立50周年を記念し、記念式典・祝賀会の開催したほか、記念植樹及び外構植栽整備、寄付を以下のとおり行った。

(ア) 記念式典・祝賀会の開催

事業団の設立並びに運営に尽力された関係者へ感謝の意を表し、今後の事業団の更なる発展を祈念する機会として記念式典・祝賀会を開催した。

・開催日時：令和6年11月11日(月)18:00～20:00（17:30 開場）

・開催場所：ホテルコレクティブ大宴会場

・出席者：126 名

・プログラム：

① オープニング 事業団設立50周年記念映像放映

② 主催者あいさつ 理事長 田名毅

③ 来賓祝辞 沖縄県知事 玉城デニー（代読 池田竹州副知事）

④ 乾杯 沖縄県議会議長 中川京貴

- ⑤ 功労者表彰 4 個人、3 団体
- ⑥ 本気のラジオ体操 パッション屋良
- ⑦ ミニライブ 金城綾乃 (Kiroro)
- ⑧ 閉会のあいさつ 専務理事 長濱為一

・功労者表彰の候補者（個人及び団体）

＜個人表彰＞

- ① 安里 哲好（事業団 前理事長）
- ② 新川 信茂（事業団 元事務局長）
- ③ 當間 茂樹（沖縄県臓器移植推進委員会 前委員長）
- ④ 新垣 義孝（沖縄県臓器移植推進委員会 前副委員長）

＜団体表彰＞

- ① 沖縄県食生活改善推進委員会連絡協議会
- ② 特定非営利活動法人こども医療支援わらびの会
- ③ 公益財団法人沖縄県労働者福祉基金協会

（イ）外構・植栽の整備

事業団施設（浦添市沢岬）の外構及び植栽の整備を実施し、施設の景観美化並びに施設利用者の利便性向上を図った。

- ・ミニサンダンカの植樹（国道 330 号に面した正門側フェンス沿い）
- ・シェアサイクルステーションの設置（運営事業者：プロトソリューション、運用開始年月日 令和 6 年 11 月 1 日、設置台数：7 台）

（ウ）寄付の実施

事業団 50 周年記念事業の一環として、県内において保健・医療・福祉の向上に取り組む団体に対し、寄付を実施した。

- ・寄付先：沖縄こどもの未来県民会議
- ・寄付金額：10 万円
- ・寄付先選定理由：同会議は、沖縄県知事を会長とする 115 の団体で構成された組織であり、当事業団も、福祉・医療・保健関係分野における会員となっている。また、同会議は子どもの心と体の健全な成長等を支援する様々な事業や取り組みを行っており、当事業団の定款に定める目的とも重なることから寄付先として選定した。

周年事業積立計画資産（特定資産）の活用による事業実績表

【平成 30 年度から令和 6 年度まで】 予算総額 3,000 万円

事業名(中科目)	事業名(小科目)	事業予算(円)		
		平成30年度から 令和5年度まで (実績額)	令和6年度 (決算額)	合計
設立45周年記念事業	①広報力強化事業	5,628,318		5,628,318
設立50周年記念事業	①記念イベント等開催関連事業	10,306,500	3,571,338	13,877,838
ファミリーハウス 10周年記念事業	①シンポジウム開催事業	2,995,043		2,995,043
	②植栽整備事業	1,686,000		1,686,000
人件費	①嘱託職員人件費	2,812,801	3,000,000	5,812,801
合計額		23,428,662	6,571,338	30,000,000

(8) 資金運用

日米間の金利差は縮小傾向に転じたものの、依然として米国との金利格差は大きく、円安基調は継続した。また、各国の通商政策や地政学的リスク等の影響による世界経済の不確実性が要因となり、金融市場において株価や為替の変動が大きく不安定な年度となった。

事業団の令和6年度資産運用実績については、運用益が201,249,887円、利回りが2.77%となり、対前年度及び対予算をいずれも上回る運用益（対前年度比40,489,394円増、対予算比8,059,887円増）と利回り（対前年度比0.56%増、対予算比0.11%増）を確保することができた。

令和6年度資産運用益及び利回り【対前年度比】

運用 種類	令和6年度実績			令和5年度実績			増減		
	運用額 (千円)	運用益 (千円)	利回り (%)	運用額 (千円)	運用益 (千円)	利回り (%)	運用額 (千円)	運用益 (千円)	利回り (%)
基本 財産	3,505,000	51,146	1.46	3,505,000	51,546	1.47	0	△400	△0.01
特定 資産	3,755,000	150,103	4.00	3,755,000	109,214	2.91	0	40,889	1.08
計	7,260,000	201,249	2.77	7,260,000	160,760	2.21	0	40,489	0.56

令和6年度資産運用益及び利回り【対予算比】

運用 種類	令和6年度実績			令和6年度予算			増減		
	運用額 (千円)	運用益 (千円)	利回り (%)	運用額 (千円)	運用益 (千円)	利回り (%)	運用額 (千円)	運用益 (千円)	利回り (%)
基本 財産	3,505,000	51,146	1.46	3,505,000	51,045	1.46	0	101	0.00
特定 資産	3,755,000	150,103	4.00	3,755,000	142,145	3.79	0	7,958	0.21
計	7,260,000	201,249	2.77	7,260,000	193,190	2.66	0	8,059	0.11

3 業務経過

令和6年度	主要事項
4月1日	令和6年度第1回臨時評議員会（書面によるみなし決議）
〃	令和6年度第1回理事会（書面によるみなし決議）
〃	ファミリーハウス運営委託契約の締結（こども医療支援わらびの会）
〃	臓器移植連絡調整者設置事業受託（沖縄県）
3日	メディアミックス型健康情報発信事業公募開始（5/2迄）
4日	臓器移植普及啓発活動団体助成事業公募開始（5/31迄）
10日	健康課題解決型支援事業助成公募開始（5/24迄）
〃	健康づくり運動実践団体助成事業公募開始（5/31迄）
11日	市町村健康づくり運動実践活動助成事業公募開始（5/31迄）
12日	ラジオ体操の普及啓発事業公募開始（5/7迄）
22日	就労支援事業公募開始（5/31迄）
5月27日	令和5年度事業報告及び決算に係る監事による監査実施

30 日	臓器移植に関する出張講座の開催（沖縄県立看護大学）6/20、7/11 計 3 回
6 月 4 日	禁煙への動機づけ支援事業契約の締結（協会けんぽ・県薬剤師会）
5 日	令和 6 年度第 2 回理事会
6 日	職場の健康力アップ推進事業開始（県共同事業 R7. 3/27 迄）
10 日	子供の体力低下対策イベント事業公募開始（6/28 迄）
13 日	健康づくり講演会公募開始（7/1 迄）
〃	令和 6 年度第 2 回臨時評議員会（書面によるみなし決議）
24 日	令和 6 年度定時評議員会
25 日	団体助成事業二次応募受付開始（7/26 迄）
7 月 1 日	Instagram キャンペーン作品募集開始（8/16 迄）
8 日	食育活動調理実習の開催（11 市町村にて計 18 回開催、R6. 2/21 迄）
〃	令和 6 年度第 3 回理事会（書面によるみなし決議）
10 日	令和 6 年度第 3 回臨時評議員会（書面によるみなし決議）
11 日	令和 6 年度第 4 回理事会（書面によるみなし決議）
12 日	第 1 回沖縄県移植情報担当者会議
22 日	臓器移植推進事業賛助会員募集開始
24 日	第 1 回臓器移植推進委員会
8 月 1 日	健康情報誌「KENKO ISLAND Vol.68」の発行（発行部数 23,000 部）
〃	ファミリーハウス広報強化事業公募開始（8/30 迄）
5 日	タクシーの日ラジオ番組にて臓器移植に関する情報発信（RBCi ラジオ）
14 日	令和 6 年度第 5 回理事会（書面によるみなし決議）
18 日	グリーンリボンプロモーション事業オリジナルドラマ放送（QAB 朝日放送）
31 日	令和 6 年度第 4 回臨時評議員会（書面によるみなし決議）
9 月 26 日	グリーンリボンドライバーステッカー贈呈式（沖縄県ハイヤータクシー協会）
10 月 2 日	沖縄グリーンリボンアート展開催（県立図書館：10/30 迄）
〃	ラジオ体操の普及啓発事業 CM 放映（10/31 迄）
3 日	臓器移植に関する出張講座（沖縄県立看護大学）10/24 計 2 回
5 日	街頭キャンペーン及びグリーンライトアップ点灯式
8 日	若年層向け食育講習会（県立真和志高等学校 4 クラス、10&11 日）
11 日	企業向けラジオ体操指導員資格取得講習会
16 日	グリーンリボンラジオ番組出演（ラジオ沖縄）
19 日	グリーンリボンラジオ番組出演（RBCi ラジオ）
23 日	グリーンリボンラジオ番組出演（エフエム沖縄）
26 日	臓器移植を知るシンポジウム（県立図書館）
11 月 1 日	健康情報誌「KENKO ISLAND Vol.69」発行（発行部数 24,000 部）
4 日	移植医療セミナー（TPM）への派遣 ～ 8 日迄
8 日	第 2 回沖縄県移植情報担当者会議
10 日	臓器移植を知るシンポジウム記事掲載（沖縄タイムス、琉球新報）
11 日	設立 50 周年記念式典・祝賀会（ホテルコレクティブ）
17 日	第 11 回県民健康フェア 2024（なごみ会との共催事業）
〃	研修会等派遣事業（日本脳死・脳蘇生学会臓器提供ハンズオンセミナー）
18 日	沖縄グリーンリボンアート展（県立中部病院：～12/20 迄）
20 日	市町村健康づくり運動実践活動助成事業アンケート実施（回答 19/41 市町村）
12 月 14 日	こどもスポーツフェスティバル 2024 ～15 日迄
19 日	ファミリーハウス運営協議会（がじゅまるの家）
〃	臓器移植に関する出張講座（沖縄大学）
1 月 22 日	臓器移植に関する市民公開講座（オンライン）
26 日	健康情報誌「KENKO ISLAND Vol.70」発行（発行部数 23,000 部）

〃	健康づくり講演会（アイムユニバースてだこ大ホール）
2月6日	若年層向け食育講習会（宮古島市立鏡原中学校4クラス）
6日	研修会等派遣事業（第58回日本臨床腎移植学会）～8日迄
7日	若年層向け食育講習会（県立宮古総合実業高等学校1クラス）
8日	第58回日本臨床腎移植学会ワークショップにおける発表
3月7日	第3回沖縄県移植情報担当者会議
10日	第3回臓器移植推進委員会
13日	わらびの会社用車導入による協議締結
25日	がじゅまるの家施設紹介動画及びテーマソング（作詞作曲：金城綾乃）発表会
26日	令和6年度第6回理事会

4 評議員会決議事項

（1）令和6年度第1回臨時評議員会 みなし決議（令和6年4月1日）

議案番号	議案	結果
第1号	評議員及び理事の辞任に伴う補欠選任について	議決

（2）令和6年度第2回臨時評議員会 みなし決議（令和6年6月13日）

議案番号	議案	結果
第1号	評議員の辞任に伴う補欠選任について	議決

（3）令和6年度定時評議員会（令和6年6月24日）

議案番号	議案	結果
第1号	令和5年度決算について	議決
第2号	定款の一部変更について	議決

（4）令和6年度第3回臨時評議員会 みなし決議（令和6年7月10日）

議案番号	議案	結果
第1号	評議員及び理事の辞任に伴う補欠選任について	議決

（5）令和6年度第4回臨時評議員会 みなし決議（令和6年8月31日）

議案番号	議案	結果
第1号	評議員及び理事の辞任に伴う補欠選任について	議決

5 理事会決議事項

（1）令和6年度第1回理事会 みなし決議（令和6年4月1日）

議案番号	議案	結果
第1号	専務理事の選定について	議決
第2号	専務理事への事務局長の職務の委嘱について	議決

(2) 令和6年度第2回理事会 (令和6年6月5日)

議案番号	議案	結果
第 1 号	令和5年度事業報告について	議決
第 2 号	令和5年度決算について	議決
第 3 号	中長期計画(第2次)について	議決
第 4 号	定款の一部変更について	議決
第 5 号	仲宗根理事の利益相反に関連する取引について	議決
第 6 号	理事長の利益相反に関連する取引について	議決
第 7 号	評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について	議決
第 8 号	令和6年度第2回臨時評議員会について	議決
第 9 号	令和6年度定時評議員会について	議決

(3) 令和6年度第3回理事会 みなし決議(令和6年7月8日)

議案番号	議案	結果
第 1 号	評議員及び理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について	議決
第 2 号	令和6年度第3回臨時評議員会の招集について	議決

(4) 令和6年度第4回理事会 みなし決議(令和6年7月11日)

議案番号	議案	結果
第 1 号	理事長の選定について	議決

(5) 令和6年度第5回理事会 みなし決議(令和6年8月14日)

議案番号	議案	結果
第 1 号	評議員及び理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について	議決
第 2 号	令和6年度第4回臨時評議員会の招集について	議決

(6) 令和6年度第6回理事会 (令和7年3月26日)

議案番号	議案	結果
第 1 号	令和7年度事業計画書について	議決
第 2 号	令和7年度収支予算書について	議決
第 3 号	令和7年度資金調達及び設備投資の見込みについて	議決
第 4 号	與那覇理事の利益相反に関連する取引について	議決
第 5 号	村濱理事の利益相反に関連する取引について	議決
第 6 号	理事長の利益相反に関連する取引について	議決
第 7 号	評議員及び理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について	議決
第 8 号	令和7年度第1回臨時評議員会の招集について	議決

6 評議員に関する事項

(1) 評議員

ア 現 況 (令和7年3月31日)

氏名	任期	備考
稲田 隆司	令和6年7月10日～令和7年度定時評議員会	沖縄県医師会副会長
笠原 寛子	令和4年9月14日～令和7年度定時評議員会	沖縄県栄養士会副会長
喜舎場 健太	令和6年4月 1日～令和7年度定時評議員会	沖縄県保健医療介護部医療介護統括監
田端 一雄	令和3年7月11日～令和7年度定時評議員会	沖縄県経営者協会専務理事
知花 優	令和6年2月 6日～令和7年度定時評議員会	連合沖縄事務局長
仲村渠 苗子	令和6年6月13日～令和7年度定時評議員会	沖縄県女性連合会副会長
松下 美智子	令和6年8月31日～令和7年度定時評議員会	沖縄県議会文教厚生副委員長

イ 異動状況

発令日	職名	氏名	異動別	備考
令和6年4月1日	評議員	喜舎場 健太	選 任	新任 沖縄県保健医療介護部 医療介護統括監
令和6年5月 8日	評議員	上間 初美	辞 任	
令和6年6月13日	評議員	仲村渠 苗子	選 任	新任 沖縄県女性連合会副会長
令和6年6月20日	評議員	宮里 達也	辞 任	
〃 〃	評議員	石原 朝子	辞 任	
令和6年7月10日	評議員	稲田 隆司	選 任	新任 沖縄県医師会副会長
令和6年8月31日	評議員	松下 美智子	選 任	新任 沖縄県議会文教厚生副委員長
令和7年3月31日	評議員	喜舎場 健太	辞 任	

7 役員等に関する事項

(1) 役 員

ア 現 況 (令和7年3月31日)

職名	氏名	任期	備考
理事長	田名 毅	令和6年7月11日～ 令和7年度定時評議員会	沖縄県医師会会長
専務理事	長濱 為一	令和6年4月1日～ 令和7年度定時評議員会	沖縄県保健医療福祉事業団
理事	糸数 公	令和5年6月30日～ 令和7年度定時評議員会	沖縄県保健医療介護部部長
理事	新垣 新	令和6年8月31日～ 令和7年度定時評議員会	沖縄県議会文教厚生委員長

理事	砂川 健	令和5年6月30日～ 令和7年度定時評議員会	沖縄県商工労働部産業雇用統括監
理事	仲宗根 哲	令和6年2月6日～ 令和7年度定時評議員会	連合沖縄会長
理事	宮城 茂	令和6年7月10日～ 令和7年度定時評議員会	沖縄県経営者協会会長
理事	村濱 千賀子	令和5年6月30日～ 令和7年度定時評議員会	沖縄県栄養士会会長
理事	與那覇 信子	〃	沖縄県女性連合会会長
監事	有銘 寛之	令和5年6月30日～ 令和7年度定時評議員会	公認会計士
監事	城間 雄一郎	〃	税理士

イ 異動状況

発令日	職名	氏名	異動別	備考
令和6年4月 1日	理 事	長濱 為一	選任	新任 沖縄県保健医療福祉事業団専務理事
令和6年6月20日	理 事	安里 哲好	辞任	
令和6年6月20日	理事長	安里 哲好	辞任	
令和6年6月24日	理 事	末松 文信	辞任	
令和6年6月27日	理 事	金城 克也	辞任	
令和6年7月10日	理 事	宮城 茂	選任	新任 沖縄県経営者協会会長
〃 〃	理 事	田名 毅	選任	新任 沖縄県医師会会長
令和6年7月11日	理事長	田名 毅	選任	新任 〃
令和6年8月31日	理 事	新垣 新	選任	新任 沖縄県議会文教厚生委員長
令和7年3月31日	理 事	長濱 為一	辞任	
〃 〃	理 事	砂川 健	辞任	

(2) 職 員

ア 現 況 (令和7年3月31日)

職種	人数	備考
副参事	1	副参事兼務のため合計数には含まず 再任用1名、臓器移植コーディネーター2名
課 長	1	
主 査	5	
主 任	2	
主 事	1	
嘱託員	2	
合計	11	

イ 異動状況（職員） 異動なし

【事業報告の附属明細書】

事業報告の内容を補足する重要な事項はない。